

団体名		公益財団法人 武蔵野市国際交流協会				
①	指標名	在住外国人支援事業への外国籍市民参加促進			目標値	外国人支援事業への外国人の参加者拡大 (対前年度増)
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:人)	1,050	1,094	1,096	MIA外国人支援事業にかかる外国人の延べ参加者数	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(2) 事業評価の導入と事務事業の見直し		
	設定理由等	・外国人市民が明確に増加しており、対応言語や相談も多様化している。外国人市民の現在のニーズに応え参加者を増やすことで、多文化への理解を深め、支援内容のさらなる強化につなげるため。				
事業	取組	・MIAの存在及び役割の認知度を高め、外国人にとってアクセスしやすい環境を整備する。協会主催事業だけでなく外部事業にも参加し、協会の広報を継続する。 ・在京外国人市民枠での都立高校入試不合格者の増加に対応した「多言語高校進学ガイダンス」、「外国人のための法律と心理の相談会」等、現在の外国人市民のニーズに応える事業を継続する。 ・外国籍市民の保育園入園相談会を市と共催で実施する等、新たな課題に取り組む。				
	内容					
	指標名	会費収入の確保			目標値	会費収入の確保 (対前年度同程度又は増)
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:千円)	1,000	995	1,031	会費合計	
設定理由等	・会員ボランティアがMIAの事業運営を支えている状況にあり、協会活動の新たな理解者を増やし、会員の維持・増加を図ることが、協会の安定的な事業運営に不可欠なため。					
財務	取組	・MIAの活動に関する広報を継続し、会費収入や協力者の拡大に努める。 ・転入者への広報チラシの配布を継続するほか、広報チラシのデザインについての見直しを行う。 ・HPとFacebook以外のデジタル広報メディアの活用について、引き続き検討する。 ・引き続き学校、大学、子ども施設等の事業に積極的に協力することで、MIAの認知度向上を図る。				
	内容					
	指標名	MIA事業へのボランティアの参加促進			目標値	ボランティア登録者数の維持又は拡大 (対前年度同程度又は増)
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:人)	280	312	302	語学ボランティア、日本語交流員、留学生ファミリーの合計	
内部	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	・MIAの事業は、会員ボランティアが運営を担っており、職員はそのコーディネートを行っている。限られた職員数で充実した事業を行うためには多様なボランティア人材の活用が必要なため。				
	取組	・各種事業を継続してボランティア活動を広げる。 ・語学ボランティアについては優秀な人材の確保が厳しくなっている。通訳報酬の定期的な見直しを実施する。				
	内容					
	管理部					